

令和4年度活動報告



氏名：渡邊ゆかり

活動地域：柿崎区松留・上中山・猿毛集落

活動期間：令和3年2月～。2年2か月間
(令和5年4月1日現在)

地域が求める地域おこし協力隊像

- 農業を営み、みんなと力を合わせて集落と農地の維持に取り組む
- 6次産業につなぐ特産品の開発と流通のコーディネートに取り組む



任期終了後の目標

- 定住し、地域社会の担い手、地域農業の担い手になる。
- 地域イベントの運営を継続して手伝う。また、主体的にイベントを企画する。
- 情報発信の経験を活かし地域や自身の事をPRし、地域に活力を生み出す。
- 生活の支援を継続して行う。

2年目の
テーマ

地域と連携し
「実践したいこと」
を試す

[定住・地域活性化に向けた取り組み]

- 幅広い仕事に取り組み多くの事を経験する
- 松留・上中山・猿毛集落及び柿崎区中山間地域農業振興会の求めに応じた業務をする上で必要な研修の参加、資格取得などをする。

農業支援

- 稲作や野菜作りを実践する。



地域振興・生活支援

- 地域おこしイベントの企画、運営に参加する。
- 積極的に集落の普請や行事に参加しコミュニケーションを図る。
- 高齢者と交流し、地域の生活ニーズを把握する。



渡邊プロジェクト

- 田んぼ、畑を借りて一環として農業を始める。
- 栽培技術を学び収穫の喜びを知る。



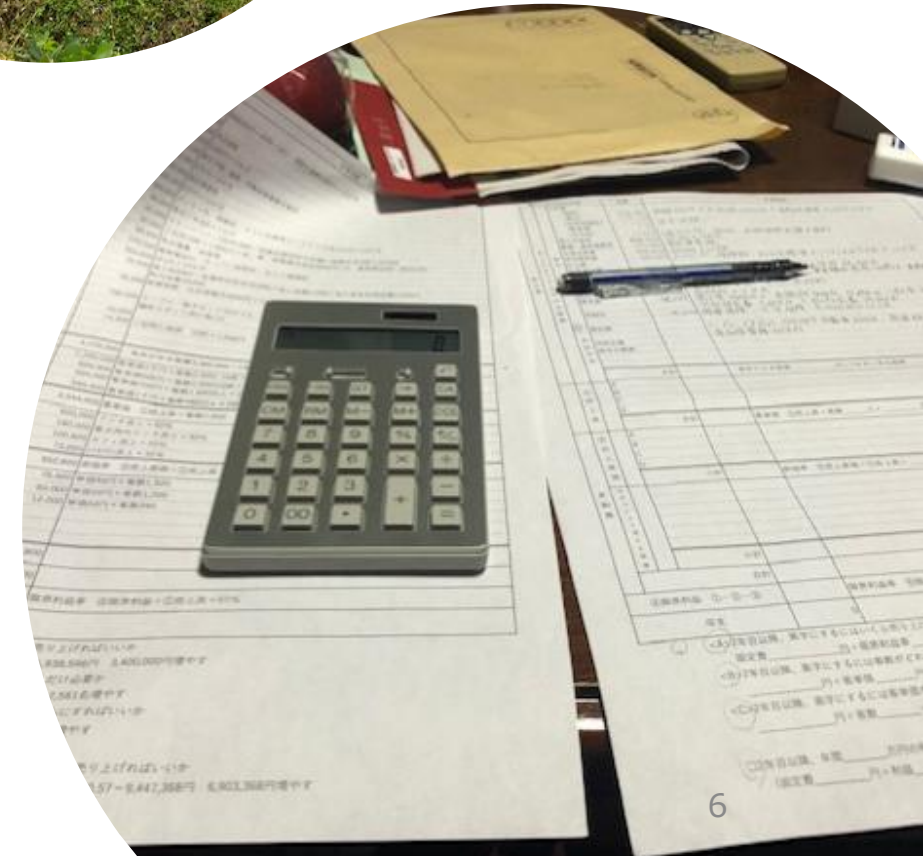
2年目活動実績(1)

- 各集落普請参加。用水、電柵設置撤去、草刈など。
- 水稻栽培から米の販売の手伝い。初めてコンバインで稲刈り作業を行った。
- 野菜栽培では、じゃがいもやなすなどの定番の春夏野菜に加え、えだまめ、いちご、自然薯、ポップコーン用とうもろこしを栽培した。収穫した野菜などの試作加工では、フレーバーポップコーンやさつまいもコロッケなどを調理した。
- 畜産の仕事は、牛のえさやり、たい肥とり、牧場・市場見学などをした。
- 地域の方々、高齢者の方々との交流、お茶会、送迎など



2年目活動実績(2)

- 「柿崎を食べる会」が行っている小学生田植え体験、黒川地区で行っている「ふれあいまつり」、「ガンバ米山」の柿崎ダム八重桜公園の管理事業などの手伝い。
- 講習・研修などの受講。ワーキングウイメンズアソシエーション・女性のための起業講座。上越商工会議所・じょうえつ創業塾。上越市・中山間地域「農産物販売強化」研修会。合同会社アンビション・ビジネス交流会。
- わな免許、大型特殊自動車免許取得。



2年目まとめ

「柿崎区上中山校区(松留・上中山・猿毛集落)地域おこし協力隊活動計画」に基づき、2年目の活動テーマ、目標の大部分は達成できました。

担当集落において、任期終了後の就農と定住を目標に実現可能な形を常に考えながらの活動でした。

今年度は特に、行政職員の方々に大変お世話になった年でもありました。私の活動を全面的に支えてくださった市川推進員、講習・研修等の情報を教えてくださった総合事務所、自治市域振興課の方々、業務形態・福利厚生については人事課の方々、これらの皆様の助力が無ければ2年目の実績は無かったと実感し、感謝をしています。

更に、担当地域や受け入れ農家の皆様のご理解とご協力のお陰様で水稻栽培ができたこと、畑作においては自然薯やポップコーン用とうもろこしなどの栽培に挑戦することが出来ました。

3年目の テーマ

「実践」したいこ
を实践する

[定住・地域活性化に向けた取り組み]

- 定住に向けた就農の準備を行う
- 2年間で体験した幅広い仕事の中から定住に向けて取り組みたい仕事を重点的に経験する

3年目の活動計画(1)

農業支援

- 4年目以降の就農を見据えてこれまで経験した稲作、畑作、果樹や畜産、林業など、幅広い仕事の中から取り組んでいきたい仕事の経験を積む。
 - 稲作や野菜作りを実践する
 - 畜産飼育の手伝い
- 地域の特産品の新たな活用法を検討する
- 農産物のさらなる販売拡大を検討する

地域振興支援

- 地域おこしイベントの運営を手伝う
 - ガンバ米山
 - 柿崎を食べる会
 - 黒川地区「ふれあいまつり」
- SNSを利用した情報発信に向けて準備をする
 - Facebook
 - Instagram
- テレビやラジオ等に出演し柿崎区をPRする

3年目の活動計画(2)

生活支援

- 中山間地域での生活を支援する
 - ・積極的に行事に参加し
コミュニケーションを図る
 - ・高齢者の見守りを行う
 - ・集落の普請を手伝う
 - ・積極的に高齢者と交流し
地域のニーズを把握する

渡邊(畔田)プロジェクト

- 来季から農業で生活していくための準備
 - ・栽培品目などを検討する
 - ・イベント企画・実施
 - ・地域PR企画・実施
 - ・必要な資格取得、研修等の受講
 - ▶ フォークリフト
 - ▶ 農業簿記

3年目の活動・業務における目標と抱負

1年目、2年目の活動の経験を活かし、3年目では就農と定住を大きな目標とし、任期終了後の生活について理想と現実のバランスの取れた具体的な設計を立てることが必要です。

できる限り地域の主要産業である稲作や今まで行ってきた支援活動などを継続することが理想だと考えています。ただし、地域おこし協力隊として行ってきた支援活動は生活に余力がなければできないので、その問題点をどのように解消するかが今年度の課題であります。

以上

